

やはタウンスクールだより

2025年1月17日

八幡小学校地域学校協働活動本部
八幡市立八幡小学校(22-4801)

炭火の威力!

1月15日(水)に、3年社会科「昔のどうぐを調べよう」の学習で、「やはタウンスクール」を実施しました。保護者・地域より6名の参加をいただき、昔の道具の一つである七輪(しちりん)を体験しました。

七輪を使うのは初めてという人がほとんどで、子どもたちは炭火の温かさに歓声を挙げていました。おもちを焼いてみたところ、あっという間に焼けて、ぷくっとふくらむおもちの様子にみんなの表情もにこやかになり、おいしくいただきました。

炭の威力を体感するとともに、現在の電子レンジやガスコンロと比べて、準備に手間がかかることを理解しながら昔の暮らしに関心をもつことができました。その後、教室で参加者の方からご自身が子どもの頃の暮らしの様子を聞く活動を行いました。様々な年代の方の話から時代とともに移り変わる様子が分かりました。

今後の学習でさらにくわしく調べたことをまとめ、お互いの発表を聞き合い、暮らしの移りかわりへと発展させて行く予定です。



資料:七輪(しちりん)

七輪はガスではなく炭火で焼くのが特徴です。炭火で焼くと、旨みを引き出すのに重要な赤外線が発生量が、ガスの炎の約4倍になるといわれています。この赤外線の働きによって旨みを閉じ込めたまま、表面がしっかり焼けると同時に、中まで素早くふっくら火が通ります。



(参加者の方の感想)

- 初めて七輪を見ました。思ったよりもあたたかく、火力も強かったです。(中略)昔は七輪の火をおこすのは子どもの仕事ということを知って驚きました。
- 短い時間でもちの中まで火が通っていて、さすがに炭火はいいですね。
- 七輪を使ってみて、火の調整ができないので、焼き加減や置き方を考えなければいけないのだと思いました。
- みんなで七輪を囲んで、楽しく暖かく使い方を学びました。もちを焼いて、香ばしくてよりおいしく感じました。

さて、次週の「やはタウンスクール」は、4年生の社会科や5年生の家庭科を予定しています。保護者や地域の方の参加をいただき、どんな学びが展開されるのか楽しみです。本日、6年生の図画工作の協力募集を配信しています。こちらもご参加よろしくお祈いします。

※ このおたよりをインターネットやSNSにアップロードされないよう固くお祈いします。

